

来 賓 挨 拶

高知女子大学長 木 原 正 雄

木原でございます。今日は宗像先生をお迎えして第15回高知女子大学看護学会が開催されますことは、日本の看護学の発展にとりまして、大変有意義なことと存じます。科学技術の発展に伴い、医学のみならず、理学、工学、その他の分野におきまして、研究対象は非常に多様化しております。また学問研究の専門化も進んでおります。しかしながら、専門化が進めば進むほど、広い視野を持ち、総合的な視点から学問研究の在り方、科学技術の在り方を考えることが必要ではないかと存じます。我々の身の回りを見ましても技術の発展により、日常生活は非常に便利になりました。また、非常に機能的なものになってまいりました。しかしながら、このような生活における利便性、機能性というものは果たして、肉体的にも精神的にも人間の健全な発展にとって好ましいことであるのかどうか、ということは、我々、十分考える必要があるのではないかと考えております。自然科学の点からも、あるいは、人文・社会科学の視点からも検討することが、益々、今後、必要になってくるかと思えます。人間の在り方、人間の生活を考えます上で、直接人間の生命を対象とされます看護学の意義と役割は、今後益々、重要なものとなってきております。このようなときに、本日暑い中にもかかわらず高知女子大学の看護学会が開催されますことは、看護学の発展にとり、重要なことではないかと存じます。どうぞ高知女子大学看護学会の御成功と今後の御発展を祈念しまして、挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。